

子どもの自立・就職に向けて  
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

# ～保護者セミナー～

開催日時

**10月21日(土)**

時間：13:30～16:00

会場：福井県社会福祉センター（福井市光陽2-3-22）



【講師紹介】

臨床心理センターで心理療法に携わりながら、ポジティブ心理学に基づいた活動を教育現場・地域において実践していらっしゃいます。

金沢工業大学心理科学研究所 HP

[http://www.kanazawa-](http://www.kanazawa-it.ac.jp/wwwr/lab/lps/index.html)

[it.ac.jp/wwwr/lab/lps/index.html](http://www.kanazawa-it.ac.jp/wwwr/lab/lps/index.html)

金沢工業大学心理科学研究所 所長

講師：塩谷 亨（しおたに とおる）氏

テーマ：「ポジティブ感情の役割と

前向きになるワークショップ」

内容：ポジティブ感情の意味を説明し、

幸福感を増大させるワークを実施します

対象：無職のお子さんを持つご家族の方

定員：20名（事前にサポステふくいまで申し込み下さい）



日時：平成29年8月19日(土) **8月開催のセミナーレポート**

テーマ：「虚偽性と依存を考える。」

～心と体が“うそをつく”トラブル、その意味と必要性とは～

講師：前敦賀短期大学教授 龍谿 乗峰氏

心は刺激によって動くものですが、刺激が強すぎると防衛機制という心の安全装置が働きます。また、自分では対処しきれない問題に直面すると、病気などになり、周囲からの労りや休養を得て、回復の機会を得る場合（疾病利得）があります。それで心身の回復が図れれば、通常の生活が送れますが、問題が持続する場合は悪循環を生みます。これらの関係性に着目することで原因や対処がわかることがあります。先生は、これまで関わった二つの家族、特に共依存にある親子に焦点を当ててその問題点を整理していきました。

その後、参加者の方から、「わが子が動かないのは、なぜか？」という質問に対し、先生が「今の状態を言葉にするとどう表現しますか。」と他の参加者に投げかけると、“充電期間”、“休憩期間”といった答えが出てきました。期間には終わりがあり、そのことを認め、本人に任せることで今の状態を許し、見守ることが出来るかが、ポイントであるとのことでした。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

問い合わせ先：

ふくい若者サポートステーション（サポステふくい）

福井市光陽2丁目3-22 TEL：0776-21-0311

（受付時間 月～金 9:00～17:00） E-mail: info@fukui-yss.com